理科センターだより

佐渡市立理科教育センター

令和８年１０月５日　No.６
〒952-1325 佐渡市窪田60
TEL　0259-51-4649
FAX　0259-51-4650
E-mail　sadori@sado.ed.jp

児童生徒・一般対象事業　９月

第31回　佐渡市子どものための科学祭り（総来場者数 1,157人 昨年度 1,046人）

９月12日（土）・13日（日）　アミューズメント佐渡

科学作品展





今年度は143点の作品が出品されました。また、作品展は2日間で942人の来場者がありました。
多くの作品を出品していただき、ありがとうございました。

おもちゃコンテスト

18人の児童が応募してくれました。その中から8作品のおもちゃが各賞に入賞しました。
工夫と創造力、粘り強いチャレンジにあふれる力作ぞろいでした。　審査・運営等ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



科学体験教室



佐渡臨海実験所
「海そうの中の小さな生き物探し」



佐渡ジオパーク推進協議会
「化石レプリカ」



佐渡世界遺産課
「金って重いの？軽いの？」



小学校事業協力員
「ペーパークロマトグラフィー」



中学校事業協力員
「ビー玉2球連結ごま」

5つのブースで体験教室を行いました。合計143人の参加がありました。 今年度も「佐渡島SDGs天地人サイエンスプロジェクト2026」と同時開催し、盛会にうちに終わりました。ご協力いただきました関係者の皆様方には深く感謝申し上げます。

佐渡島 SDGs天・地・人サイエンスプロジェクト　（9月12・13日同日開催）



サイエンス教室

「天地人が創った佐渡島の自然―森林と植物の不思議」

新潟大学名誉教授　崎尾　均　様

「佐渡まるごとサイエンスライブ」（クイズ大会）

「見えないブラックホールを見てみよう」

新潟大学創生学部助教　小山　翔子　様

天地人サイエンスワークショップ

「望遠鏡を作って、星空の不思議を探ろう」（新潟大学）

「水を使って明かりをともそう」（東京理科大学）

「試してみよう!海で作る電気の未来」（日本大学）

「砂鉄を学んで、砂鉄の木を作ってみよう!」（長岡技術科学大学）

佐渡塾 講演会

① 東京理科大学名誉教授　本間芳和　様

② 東京大学名誉教授　浅島 誠　様

③ 日本大学名誉教授　畔柳 昭雄　様

ご支援ご協力いただきました関係者の皆様方には深く感謝申し上げます。アンケート等でお寄せいただいた皆様からのご意見を参考にして、より一層理科好きな子どもたちの育成のために事業内容を工夫したり、見直したりしていきます。

科学教室 9月 24 日（火）　河崎小学校PTA　星空観察会





昨年度に引き続いて、河崎小学校で星空観察会を開催しました。前回は天気がわるく見られなかったのですが、今回はよい天気に恵まれ、実際に月や星の観察をすることができました。

iPadの星空観察アプリを使って星座を確かめたり望遠鏡で月を観たりして実際に夜空の星を観察する楽しさに触れるよい機会となりました。これからも星に興味をもって観察を続けてほしいです。

研修会報告　９月

佐渡市小学校教育研究会生活科部研修会　９月16日（水）　会場:理科教育センター



佐渡市小学校教育研究会生活科部からの依頼で、教室での生物の飼育、身近な植物を使ったおもちゃづくりについて研修しました。

生物の飼育では、飼ってはいけない生物について、法律や条例の観点から学びました。

身近な植物を使ったおもちゃづくりでは、どんぐりや松ぼっくりを用いたおもちゃのアイディアについて研修し、様々なおもちゃを作製しました。

「いきいきわくわく科学賞 2026」の応募について

先日行われました佐渡市児童生徒科学研究発表会（アミューズメント佐渡）では、たくさんの参加をいただきありがとうございました。小中学生ともに、堂々と自分の研究の成果を発表し、盛会のうちに終わることができました。関係者の皆様には、これまでのご指導や運営のご協力に大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後につきましては、「いきいきわくわく科学賞 2026（第 62 回新潟県児童生徒科学研究発表会）」の応募〆切が 10 月 8 日となっております。佐渡市の科学研究発表会に参加した児童生徒の皆さんは原則応募が可能ですので、奮ってお申し込みください。実施要項は、6 月に各学校に配信されております。そちらをご覧ください。（R8 理セン Teams 内にもアップロードしてありますのでご活用ください。「41 いきわく科学賞・科学の甲子園 Jr」チャネル内。）